



育てよう 広げよう 福祉のこころ

社会福祉協議会(略して「社協」)は、私たち地域住民が自主的に参加して組織をつくり、活動に必要な資金を調達し、お互いに役割を分担し協力して活動を行い、地域の福祉を増進することを目的とする民間団体です。
私たちの社協を私たちの手で協力して育み、湘南大庭地区を福祉のゆきとどいた地域にしようではありませんか。

・湘南大庭地域の人口/ 32,223人 ・世帯数/12,445世帯 (2011年11月1日現在)

事務局/湘南大庭市民センター 電話 (87) 1111

ご存知ですか このマーク!

ちょっとした手助け・思いやりを...

オストメイトマーク



人工肛門・人工膀胱を造設している人(オストメイト)のための設備があることを表すマーク

国際シンボルマーク



障がいのある人が利用できる建物や施設であることを表す世界共通のマーク

盲人のための国際シンボルマーク



視覚障がい者の安全やバリアフリーに考慮された建物設備であることを表す世界共通のマーク

ほじょ犬マーク



身体障がい者のための補助犬(盲導・介助・聴導犬)の啓発マーク

はじめの一步
まず
心のバリアフリーから

耳マーク



聞こえが不自由なことを表すマーク

聴覚障がい者標識



聴覚障がいのある人が運転していることを表示するマーク

身体障がい者標識



肢体不自由のある人が運転していることを表示するマーク

ハート・プラスマーク



心臓やじん臓など「身体内部に障がいがある人」を表しているマーク

障がいの有無にかかわらず、市民誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合う「共生社会」の実現を図るためには、各種の障がい者対策の推進とともに、その基礎となる社会のあり方として、障がいのある人とない人との間の「心の壁」を取り除くことが大切であり、市民一人ひとりが障がいや障がいのある人への理解と関心を深めることが欠かせません。
(藤沢市障がい福祉課 心のバリアフリーハンドブックより)

～地区内・近隣の障がい者施設～

社会福祉法人 光友会 **ライフ湘南**
藤沢市遠藤 642-6 TEL 8 6-6 5 6 3

活動内容

月～金曜日及び隔週の土曜日

作業内容

製パン、製麺（うどん）喫茶店・厨房（接客及び給食補助）、清掃、とうふ工房、軽作業（下請け・園芸等）

年間行事

お花見、七夕、暑気払い、ふくし村まつり、運動会、文化祭、一泊旅行、忘年会、餅つき、節分、ひな祭り、クラブ活動（卓球）

主に知的障がいを持った方々が、ご本人の適性や希望に合わせた作業科目を通じて、「働くこと」や「地域社会の中で生活すること」が出来るように支援するために作られた施設です。



販売会 平成23年11月1日
湘南大庭市民センターにて



社会福祉法人 光友会 **神奈川ワークショップ**
藤沢市瀬郷 1008-1 TEL 4 8-1 5 0 3

活動内容

月～金曜日（月1回土曜日出勤あり）午前9:15～午後3:15
夏・冬休みは1週間程度

作業内容

点字印刷、オフセット印刷、製パン、軽作業、農作業、マッサージ治療、テーププリント

年間行事

運動会・文化祭（隔年）、ふくし村まつり、レクリエーション餅つき大会、希望寄席、チャリティーコンサート、旅行 等



主に身体障がい者で、一般就労に意欲がある方や、就業することが困難な方などの支援を提供しています。

かわうそ工房は「かわうそサブレ」を中心とした焼き菓子の専門工房です。

社会福祉法人 マロニエ会 **湘南マロニエ**
藤沢市石川 636-25 TEL 8 7-2 8 0 0

活動内容

主に重度心身障がい者の方々が午前中は課題別活動を行い、午後はリラクゼーションやリハビリテーションを中心に活動

作業内容

Tシャツのしぼり染め、押し花、ビーズ細工、カレンダー作り、印刷会社からの下請け作業（荷札作り、パンフレット袋入れ）

年間行事

外出、ショッピングや食事会、誕生会、調理実習

第23回“マロニエ祭”は「絆」をテーマに平成23年10月16日に開催されました。

北の谷子ども会による元気なお囃子がお祭り気分を盛り上げ、施設内外には作品販売をはじめ野菜、焼きそば等の模擬店も数多く出店されました。関係者が一体となったこのお祭りを、今後もより一層盛り上げていきます。



社会福祉法人 **エール湘南**
藤沢市遠藤 642-2 TEL 8 6-0 6 2 5

活動内容

- ・焼き菓子作業

材料の計量、クッキーづくり、道具の手入れ、洗い物、リボン切り、夏みかんピールづくり、祭りバザー等での販売

- ・農作業

種まき、水やり、除草、収穫作業など

- ・休暇

土日、年末年始、夏休み

※ 休日のバザー販売活動は翌日が代休



主に知的障がい者の方が自立するために焼き菓子や畑作業などの活動をしている。

作った焼き菓子はイオン藤沢店、慶応大学食堂、ギャラリー木の実さんなどに置かせてもらったり、学校のお楽しみ会や結婚式の引き出物、贈答品にも使ってもらっています。

ライフタウン・ジョワの活動12 事務局：イオン藤沢店3階0466-86-1084



10月22日(土)、23日(日)に行われた平成23年度「湘南大庭ふるさとまつり」にジョワ活動紹介パネルを2枚を出展、来場者にジョワ活動のPRを行いました。(写真)
来場された方々から、ジョワ活動を知らなかった、ふれあいサロンに出席してみたい、ジョワでボランティアをしてみたいなどの意見や質問が出され、PRパンフレットをもとにジョワ活動を説明しました。

ふるさとまつりに出展

利用者の声

今年の6月にライフタウン・ジョワに加入しました。
精神的に弱っていたので、家に来てお話し相手をしていただきました。うれしかったです。
また、絵手紙も教えていただきました。
絵は好きですが、描く日が来るとは思いませんでした。
生活に潤いが出て、活力が湧いてきて、散歩のときに見る草花に心がなごみます。小花を摘んで机に飾り、絵を描いているひとときに幸せを感じています。お世話になっている皆様に感謝いたしております。

(大越敬子)



(大越敬子 作)



通院の付き添いをしました。
先日、独り暮らしの女性(利用会員、81歳)から電話で「藤沢市民病院で検査を受ける事になったので付き添って欲しい」との依頼がありました。
約束した日2名でご自宅に伺い、タクシーで市民病院へ。この方は右腕と足が不自由で、院内は全て車椅子での移動でした。
手続き代行、X線とMRI検査で約2時間、身体の痛みのため待合室で何度も横になつたりしましたが、何とか終わることが出来ました。
今回同行したボランティア2名は、元病院、介護関係で働いていた有資格者でしたので、タクシーへの移乗、衣服の着脱手助け等も問題なく支援でき、喜んでいただけました。
支援会員(T&I)

支援者の声

相談員は、事務局でボランティアを依頼される方からの相談や支援の申し込みがあった時、お話をお聞きし、ジョワで対応できるものかどうかを検討し、受付します。

受け付け後、支援する内容を把握するため、依頼者のお宅に伺い状況を見させていただく「聞き取り訪問」をいたします。ご依頼の内容を確認し、支援会員を探し、日時の調整をして「支援活動(ボランティア)」を行います。

現在まで様々な支援活動をさせていただきましたが、まだ余力がありますので、是非ご連絡いただければと思います。(事務局相談員 芳澤周司)

ボランティアの便

・ジョワからボランティアを派遣してもらいたい方
・ジョワでボランティアをしてみたい方
ジョワ事務局
にご連絡ください!
ライフタウン・ジョワ
受付
毎週 月、水、金曜日
午前10時~午後3時
電話・FAX
0466-86-1084
事務所 イオン藤沢店3階

湘南大庭地区敬老会

平成 23 年 9 月 10 日 (土)

厳しい残暑の続く一日、湘南大庭地区に住まわれている80歳以上のご招待者1,061名の中から、203名の方々が出席し敬老会が行われました。

市長との記念撮影を行い、一部の式典では主催者あいさつ、来賓祝辞をいただき、二部では地域サークルの方々の演芸を観覧しました。滝の沢中学校生徒ボランティアのご協力もあり、つつがなく終了致しました。皆様ご協力ありがとうございました。



- * ケイキヒナヒナサークル
- * リフレッシュ・クラブ
- * 大庭ジュニアジャギー
- * ラ・メール湘南大庭ハーモニカ
- * 音色の会
- * 大庭民謡サークル
- * 大庭八寿花会



Q 本日の感想は？

A 敬老会はとても楽しいです。

Q もしタイムマシンがあったら？

A 20歳の頃に戻り青春時代をやりなおしたい！

Q 元気の源、秘訣、趣味は？

A 朝30分散歩、テレビ体操、元来骨丈夫 麻雀、謡が趣味

A スポーツ、身体を動かすこと、おしゃべりが大好き、うれしいこと・楽しいことを喜ぶことが大切と心がけている。

A 身体を動かして元気に暮らしたい。そして子孝行がしたい。

Q ライフタウンの印象は？

A いろいろな施設が近くにまとまり住みやすい。

A 緑・花が多く、綺麗に整備されている。



※ご夫婦でご出席された方にインタビューしました。

お知らせ

湘南大庭地区社会福祉協議会会長の西島恒博氏が平成23年9月10日に



逝去されました。規約により平成23年度は南副会長が会長代行を務めます。

西島恒博会長を悼む

9月10日、湘南大庭地区敬老会当日の朝、74歳の人生を閉じられました。湘南大庭地区社会福祉協議会は勿論のこと、地域のために様々な活動に取り組まれました。

湘南大庭地区の社会福祉協議会会長、自治会連合会設立発起人会座長、自治会連合会副会長、子どもサポート会議初代会長、小糸地区社会体育振興協議会会長、小糸市民の家運営委員長、小糸小学校放課後児童教室、こいとつ子運営委員長、わがまちと文化の会会員、藤沢市人権擁護委員長、藤沢市社会福祉協議会副会長等を歴任され、湘南大庭地区社会福祉協議会については、昭和61年に明治・遠藤・六会地区から分離統合して誕生した当協議会発足当初より副会長・会長（22年）を務められ、地域福祉をリードしてこられました。

西島恒博会長を偲ぶ

副会長 南 英毅

地域づくりの先駆者であり、地域福祉と地域の教育及び地域振興を推進した人でした。

子ども達の社会参加とボランティア活動にも積極的でした。その根底にあったのは、「出会い、ふれあい、支え合い」のキーワードを率先垂範する人生観ではなかったのでしょうか。それは、地域の皆さんの「幸せと豊かさ」への願いだっただけでなく、「地域のキーマンを失った」「地域福祉の先駆者を失った」という思いでいっぱいです。西島会長の人柄と功績を語る時、思うことは、組織力・経営力としてのリーダーシップと住民の皆さんに愛され、受け入れられる感性豊かなフレンドシップです。そして、地域の絆を深め、地域の輪を広げる活動を創り出すフェローシップ（連帯）の持ち主だったことです。また、思いを形にする先見性と責任感、他者への思いやりと共生、協働性を大事に、調和的關係づくりを常に心がけられていました。そのことが魅力であり、そこに多くの皆さんが惹かれ、共に歩んでこられたのではないのでしょうか。コミュニケーションを大事にされた人でもあり、自分から気持ちよく挨拶される近寄りやすい会長でした。それは、他者を思いやる心や生まれ育ちの原風景でもある素

朴性にあつたように思います。また、語彙の豊富さや話の闊達さと表現力は、人を包み込み、難しい問題も解決させるものでした。

永年に亘って自分の利を超え、地域福祉に誠心誠意、心を注がれました。感謝しても感謝し過ぎることはありません。

前小糸小学校校長 新井 泰春

滝の沢、小糸、両小学校で6年間のおつきあいだった。特に小糸小学校では、おはようボランティア、こいとつ子運営委員長など、子どもたちのためにご尽力いただいた。毎週水曜日は小糸小の「おはポラ」で短い時間ではあったがよく話をした。どの言葉にも、学校や子どもたちに対する温かいまなざしがあった。また、様々な機会でご一緒することができ、現役の時代から地域のために働いていたことに敬服しながら、自分にはその力量がないなと悟ったこともあった。地域の様々な役職を受け、どれも着実にこなしていただける力の持ち主で、ライフタウンに住まう人々の幸福のために働くことが、自分を生かすことにつながっていたと思う。

藤沢市教育委員会の策定した「学校教育ふじさわビジョン」には、「自分を生かし、人に役立つ」という理念が掲げられているが、まさにその理念を日々の生活に具現した人で

あつたと思う。故人の足跡が、今後の地域福祉に携わる方々への道標になることを今も確信している。

温かく接していた。いただいたことに感謝し、そして、故人の遺志でもあつたこれからのライフタウンの安寧を祈念し、遥かにご冥福をお祈り申し上げます。

広報部会 副部長 山崎 利門

「巨星墜つ！」の報は、青天の霹靂であつた。

湘南大庭地区社会福祉協議会生みの親であり、育ての親でもあつた西島恒博会長の死に、衝撃が走つた。水無月の或る夜、氏と酒盃を酌み交わした時のこと、同い年の編集子と酒量を競うのが常であつたのに、その夜は、半ばにして盃を伏せてしまわれた。何時もは、飲むほどに、艶やかになる氏の声が、若干寂びを帯びていた。鈍感な編集子は、「業務の為、声帯が少し草臥れているのかなあー」位にしかなかった。残りも我が体内へ注ぎ込んでしまった。氏の体が「今、病魔と闘っているんだぞー」との叫びだつたんだと、最近思えてならない。

氏の築いてこられた社会福祉の精神と事業を守り、発展させていく事が、残された私たちの責務であり、最大の供養になると、衷心から誓い鬼籍への送辞としたい。 合掌

★湘南大庭ふるさとまつり 福祉バザー 報告

平成23年10月22日・23日

バザー物品を提供・購入していただいた方、バザー販売に従事してくださった皆様に厚く御礼申し上げます。皆様の善意によって796,020円もの金額を売り上げることができました。地区内の福祉関係施設・ボランティア団体等に寄付金を、また地区内の寝たきり高齢者や在宅重度障がい者の方にはお見舞い品を贈呈しました。
東日本大震災義援金を日本赤十字社を通じて寄付させていただきました。

★介護予防教室

9月15日(木)～10月6日(木)

介護のお世話にならないように、元気でいつまでも若々しく過ごせるようにと、五十歳以上の方を対象に4回コースで行われました。

“内容”

1. シニアヨガ
2. 「ロコモ予防」ってなに
3. 口腔ケア
4. シニアエアロビック

参加者は笑顔で楽しみながら受講されていました。介護予防は続けることが大事です。健康で楽しい毎日を過ごしたいですね。(W・K)



“参加者の感想”

「介護予防教室でP・P・K(びん・びん・ころり)に目標出来た」

参加してみたが男性は二人だけだ。指導者の説明を聞いて、大庭地区の高齢化率は10年後に33%に進むそうだ。今も高齢者の身であるが、

しかし介護のお世話にはなりたくない。身体全ての筋肉・内臓・神経・骨格の調和をとるのは「ヨガ」だそう。余り使わなかった部位を思い切って伸縮する。あつ痛いと言いがら汗を流した後は気持ち良かった。

口腔ケアは納得。身体の基となる食物を血肉に変える処は口健工場と聞いた。衛生的に歯磨きをしていつもきれいにしておくべきと聞いた。美味しい食物をより美味しく、そしてしっかり噛める歯を作っておく。30回噛んでゴックンと飲み込む。歩行は正しい姿勢をとり全身を動かして足を高く上げて歩くと足腰が強くなると鍛えられバランスが良くなって転倒防止になるそうだ。

毎日意識を持って全身を動かす仲間と楽しく食べて語りたい。そしてP・P・Kで人生を送りたい。(A・H)

★湘南大庭地区合同

パトロール

8月23日(火)午後6時から、防犯協会・青少年育成協力会共催による、湘南大庭地区の合同パトロールが行われました。参加数は昨年より増え、総数154名。今年は藤沢北警察署生活安全課署員の挨拶があ

り、例年がない緊張感もって出発!! 青パト車に校長先生が同乗し、各班には、小学校・中学校の先生方、保護者の方々が同行。地域の様子を見て回りました。(Y・I)

☆ 今後の予定 ☆

- 新春のつどい 1月14日(土)
- どんど焼き 1月15日(日)
- 「介護セミナー」
1月31日(火)より6回
- 地区内小学校長との情報交換
2月3日(金)
- 遊 i n g 西高 3月17日(土)

— あとがき —

はじめの一步とした心のバリアフリーについて：今回特集のマークは、施設であったり、状態を知らせるものであったりするのですが、それを受け入れる社会でなければ役に立ちません。そんな気持ちをごめて、はじめの一步としました。そしてひとつ気になるのは、歳をとるのは障がいだろうかということ。バリアはここにもあるんじゃないかと。(H・H)